

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

レビュー項目 (事業名)	介護福祉士増加に向けた代替職員確保策 (介護福祉士試験の実務者研修等に係る代替職員の確保事業)			部(局)	福祉部
				所管課	高齢政策課
				担当班	介護人材対策班
				連絡先	078-362-4401
開始年度	H25	終了年度	—	関連計画等 兵庫県老人福祉計画(第8期介護保険事業支援計画)	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )			実施主体等	介護サービス事業所
事業目的	介護職場では職員の資質向上とキャリア形成が大きな課題であり、介護福祉士試験の受験資格要件となる実務者研修等の受講促進が必要である。しかし、受講に際しては、一定期間職場から離脱せざるを得ず、小規模事業所等では他職員の負担が過大になるため受講ができないケースがある。そこで、代替職員の確保を支援することにより、職員の研修受講を通じたキャリアアップを促進し、介護人材の資質向上と定着に繋げる。				
事業概要	介護事業所の職員が実務者研修等を受講する際に必要となる代替職員雇用経費を補助する。 対象研修：実務者研修、介護職員初任者研修、喀痰吸引等研修、認知症ケアに携わる介護従事者の研修 雇用期間：1ヶ月以上6ヶ月以下 勤務時間：常勤労働者の勤務時間の3/8以上(H31年度より緩和) 補助要件：実務者研修等に現任職員を派遣した延日数が、代替職員の勤務日数の4分の1以上				
これまでの改善状況	勤務時間の要件を、常勤労働者の勤務時間の3/4以上から3/8以上に緩和(R1年度) 対象研修に、喀痰吸引等研修、認知症ケアに携わる介護従事者の研修を追加(R3年度)				
業務フロー	募集(県) → 申請(事業者) → 受付・審査(県) → 事業実施・実績報告(事業者) → 交付(県)				

区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	901 千円	1,875 千円	6,250 千円	6,250 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		補助金・交付金	901 千円	1,875 千円	6,250 千円	6,250 千円
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)	(901千円)	(1,875千円)	(6,250千円)	(6,250千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		12,500 千円	6,250 千円	6,250 千円	6,250 千円
	執行率((①/②)×100)		7.2%	30.0%	100.0%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)	従事人員	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
		415 千円	411 千円	431 千円	431 千円	
職員給与費 a		359 千円	355 千円	376 千円	375 千円	
賞与引当金繰入額 b		29 千円	29 千円	29 千円	29 千円	
退職手当引当金繰入額 c		26 千円	28 千円	26 千円	28 千円	
総コスト(①+③)		1,316 千円	2,286 千円	6,681 千円	6,681 千円	

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度目標	最終目標【年度】
成果指標(アウトカム指標①) 兵庫県実務者研修修了者数	目標				470	
	実績(見込)	450	470	447		
	(単位当たりコスト)					
	達成率(見込)					
成果指標(アウトカム指標②)	目標					
	実績(見込)					
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
	達成率(見込)	--	--	--	--	
成果指標(アウトカム指標③)	目標					
	実績(見込)					
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
	達成率(見込)	--	--	--	--	
活動指標(アウトプット指標①) 代替職員の確保数	目標	10	5	5	5	
	実績(見込)	2	2	(1)	(5)	
	(単位当たりコスト)	(658 千円)	(1,143 千円)	(6,681 千円)	(1,336 千円)	
	達成率(見込)	20.0%	40.0%	(20.0%)	(100.0%)	
活動指標(アウトプット指標②)	目標					
	実績(見込)					
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
	達成率(見込)	--	--	--	--	
活動指標(アウトプット指標③)	目標					
	実績(見込)					
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
	達成率(見込)	--	--	--	--	
終期設定	有 ( ) ・ 無					
改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況(総合的評価)		
	<p>○有効性(評価指標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民ニーズを的確に踏まえた事業か</li> <li>・民間での事業実施は見込めない事業か</li> <li>・指標・目標設定は適切か</li> <li>・活動実績は十分か</li> <li>・想定された成果を達成しているか など</li> </ul> <p>○効率性(最小のコストで最大の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改革に取り組んでいるか</li> <li>・コスト削減の工夫を行っているか</li> <li>・ICTや民間活力は活用しているか</li> <li>・受益者負担は適正か</li> <li>・財源確保の工夫を行っているか など</li> </ul>	<p>研修受講時の代替職員のニーズはあるものの、代替職員は有期雇用となるため、人員確保が難しく、十分活用されていない点が課題である。</p> <p>勤務要件の緩和及び対象研修の追加といった業務改革に取り組んでいる。</p>		<p>介護職員キャリア形成のための資格取得促進において、代替職員の確保は必要不可欠であるが、代替職員は有期雇用となるため、人員確保が難しく、十分活用されていない状況である。これまで要件緩和等を行ってきたが、更なる改善を行い、本事業の活用を促進していきたい。</p>		
外部委員会意見	<p>課題・今後の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 改善    <input type="checkbox"/> 他事業と統合    <input type="checkbox"/> その他</p> <p>説明 ( 事業実施方法、要件(代替職員の勤務日数・雇用形態)等を、事業所が利用しやすい内容に改善し、本事業の活用を促進 )</p>					
	<p>外部委員会意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人が集まる施設の好事例を調査してはどうか。その上で、その好事例が他施設でも取り入れられるよう、経営者向け研修等、経営者のマインド改革を促す仕組みづくりも検討してはどうか。</li> <li>・派遣人材は補助の対象外となっているが、そこを規制緩和することも検討してみてはどうか。</li> <li>・代替職員の確保数はアウトカム指標とすべき。</li> </ul>					
改善結果						
<p>・令和6年度から補助対象となる代替職員を拡充し、直接雇用された者に加え派遣職員も対象とする。</p> <p>・人材確保に資する、働きやすい職場づくりの取組を広げるため、介護現場革新会議等で関係団体などとも連携を図りながら、引き続き介護人材の確保・定着に資する取組を進める。</p>						